第 14 回 QOL-PRO 研究会学術集会

プログラム（案）

テーマ:「疾病を抱える AYA 世代の QOL」

日時：2026 年 12 月 19 日（土）13:00-17:20

会場：東海大学品川キャンパス

主催：QOL-PRO 研究会学術委員会

Japanese Society for Quality of Life and Patient-Reported Outcomes Research

＜総会＞　　司会進行　平　成人（川崎医科大学）
12:20 – 12:50 研究会総会

＜プログラム＞

13:00 – 13:10 開会挨拶

理事長挨拶　平　成人

13:10 – 13:40 ワンポイントレクチャー①

座長：佐藤　伊織

「臨床試験における Estimand」を QOL・PRO 研究に活かす
演者: 東京大学 萩原　康博

13:40 – 14:10 ワンポイントレクチャー②

座長：木川　雄一郎

「EORTC の AYA 尺度について（仮）」

演者: 国立がん研究センター　石木 寛人

14:10 – 14:20 休憩

14:20 – 15:50 一般演題

座長： 村田　達教、青木　隆幸

数演題（TBD）

15:50-16:00 休憩

16:00 – 16:40 基調講演

座長：聖マリアンナ医科大学　岩谷　胤生

「AYA 研究で QOL-PRO 研究に期待すること（仮）」
演者: 小泉智恵先生

獨協医科大学埼玉医療センター　リプロダクションセンター

（公認心理師、臨床心理士、生殖心理カウンセラー、がん・生殖専門心理士）

16:40 – 17:10 パネルディスカッション

テーマ: AYA 世代を対象とした QOL-PRO 研究のハードルとそれの乗り越え方

パート１：AYA 世代を対象とした QOL-PRO 研究のハードル（課題）

パート２：パート１で浮かび上がったハードルの乗り越え方

司会: 岩谷　胤生
ディスカッサント:（順不同）
小泉智恵先生（心理職：獨協医大）

林田りか先生（看護職：長崎県立大学シーボルト校）

石木寛人先生（医師：国立がん研究センター中央病院）

彦坂信先生（医師：国立成育医療研究センター）

17:10-20 閉会挨拶

第 14 回 QOL/PRO 研究会学術集会一般演題募集について

2026 年 12 月 19 日、QOL-PRO 研究会学術集会を開催いたします。例年と同様に QOL-PRO 研究会の会員の方々から一般演題を募集いたします。研究計画段階での応募も可能です。下記に募集要項を記載しておりますので、これに沿って演題登録をお願いいたします。多数の演題登録をお待ちしております。

＜一般演題募集要項＞

1. 応募資格：筆頭演者（発表者）は QOL-PRO 研究会の会員（一般・学生・法人）であることとします。

2. 演題内容：QOL-PRO に関わる研究の結果もしくは研究計画とします。

3. 発表形式：すべて口頭発表となります。演題発表時間は、１演題 15 分（発表 10 分、質疑応答 5 分）を予定しています。（応募数によって変更する場合もありますのでご了承ください）

4. 一般演題登録期間：2026 年 9 月 18 日（金）～2026 年 11 月 20 日（金）

5. 抄録作成要領：演題名（50 文字以内）・演者名・所属機関・本文(800 字以内)を、MS word ファイルにて作成してください。

研究結果の発表は、目的・方法・結果・結論、研究計画の発表は、目的・方法・予想される結果を記載してください。

6. 応募方法：抄録ファイルを、登録期間内に、E メールに添付して QOL-PRO 研究会事務局メールアドレス宛お送りください。 メールのタイトルを、「QOL-PRO 学術集会演題応募」としてください。

QOL-PRO 研究会事務局 E-mail: qolpro@accelight.co.jp

7. 演題採否：演題の採否は大会事務局にお任せください。採否のお知らせは 2026 年 12 月初旬を予定しています。E メールにてお知らせします。